



ファイナルワークショップの様子 (バングラデシュ)
Final Workshop (Bangladesh)

Newsletter

ソフトバンク株式会社のアプリ「つながる基金」で、下記SEEDSのロゴをかざすと簡単にご寄付いただけます。

● Table of Contents Vol.69 (Mar. & Apr. 2019)

- ・バングラデシュ : バングラデシュ都市部におけるコミュニティ防災力向上事業
- ・フィリピン : セブ州における学校の防災管理推進支援事業, 学校での防災教育の推進事業
- ・ミャンマー : ヒンタダ地区における学校・地域防災支援事業
- ・日本 : 丹波市創生シティプロモーションパートナーシップ事業
- ・お知らせ
- ・講師派遣
- ・ Bangladesh : Project on Capacity Building for Community-Based Disaster Risk Reduction in Urban Areas of Bangladesh
- ・ Philippines : Support Project on Promotion of School Disaster Risk Reduction and Management in Cebu Province, Promotion of Disaster Education of Schools
- ・ Myanmar : Enhancing Comprehensive School Safety in Collaboration with Community in Hinthada Township
- ・ Japan : Tamba City Revitalizing City Promotion Partnership Project
- ・ Announcement
- ・ Delivery Lecture



特定非営利活動法人SEEDS Asia

〒658-0072

神戸市東灘区岡本3-11-30-302

3-11-30-302 Okamoto,
Higashi Nada ku, Kobe, Japan

Tel : 078-766-9412

Fax : 078-766-9413

Email : rep@seedsasia.org

Web : www.seedsasia.org

Facebook : <https://www.facebook.com/SEEDS-Asia-206338119398923/>



バングラデシュ

バングラデシュ都市部におけるコミュニティ防災力向上事業

【JICA草の根技術協力事業】

北ダッカ市民の災害対応能力の向上を目指し、コミュニティにおける防災活動を促進しています。

●市と防災コミュニティの協力体制

相次ぐ火災を受け北ダッカ市は、市長のリーダーシップのもと、4月6日から17日にかけて、市内の商業ビルを対象に火災対策の調査を実施しました。調査におけるチェックポイントを確認しゾーンごとの調査団のメンバーを決めるミーティングには、防災コミュニティのリーダーからも招かれ、それぞれの地域の状況を市職員に共有しました。実地調査にも6つの防災コミュニティが参画し、協力しました。調査では、消火器や消火栓といった消火設備が整備されていない、非常階段が設置されていないなど建築基準が守られていない、または階段がものや粗大ごみで使用不可となっている、避難訓練が行われていない、といった現状が指摘され、訪問した33のビルのすべてで火災対策が十分になされていないことが明らかになりました。今後、専門家のアドバイスのもとビルの所有者が改善に取り組んでいく予定です。今回の調査では、市が防災コミュニティを地域のリソースとして認識し、市と市民が協働する良い事例となりました。本事業のスローガンとなった、”durjoge amraa(「災害には私たちが立ち向かう」の意)”とベンガル語で書かれたベストを調査団全員が身に着け、一体となって取り組む姿は非常に印象的でした。



ビルの安全対策調査の様子

●事業紹介ビデオ完成！

ダッカでの事業を紹介するビデオが完成しました！事業でかかわった防災コミュニティのリーダー、住民、区長、消防隊員、そしてカウンターパートである北ダッカ市の職員より素晴らしいコメントをいただき、素敵なビデオに仕上がりました。下記YouTubeリンクよりぜひご覧ください！

<https://www.youtube.com/watch?v=lnubdgE8qBc&feature=share>

●事業完了とファイナルワークショップ



バングラデシュ事業チームより、応援してくださった皆様に心より感謝申し上げます。

2016年より実施してきたダッカでのコミュニティ防災事業もいよいよ終わりを迎えました。神戸の防災福祉コミュニティをモデルに、カウンターパートである北ダッカ市とともに住民の自助・共助の能力向上を目指して活動した3年間。この間に12もの防災コミュニティが生まれ、それぞれのコミュニティが自分の地域の状況にあった防災活動を実施してきました。事業開始当初は、防災は行政の責任で住民の仕事ではないと言っていたコミュニティのリーダーたちでしたが、SEEDS Asiaによる研修やまちあるきを通して、自分たちにできることがたくさんあると気づいて考え方が変わったり、家にいる時間が男性に比べて長い女性たちこそが災害に対応できる力をつけなければならないと女性の参加を促すようになったりと、前向きな変化が見られました。また、研修を受けたメンバーが、実際に火事が起きた際に初期消火を行って火を消し止めるなど、事業で目指して

いた変化や事業の意義が確認できる出来事がたくさんありました。また、防災活動を通して地域が活性化されたり、防災コミュニティ同士のネットワークができるなど、素晴らしい副次的効果もありました。

3月14日には、3年間の事業を締めくくるファイナルワークショップを開催しました。同ワークショップには、2月末の選挙により新しく就任した北ダッカ市長および市の幹部も出席し、コミュニティの防災力を向上させるため取り組んだ3年間の活動とその成果を振り返るとともに、ダッカにおける防災の今後について話し合いました。同ワークショップが就任後初のイベントとなった新市長は、市民の幸福、尊厳、安全を守るため尽力すること、また、市民が自分のまちを愛することが災害に強いまちづくりの第一歩であることを強調されました。防災コミュニティからもリーダーはじめ多くのメンバーが参加し、それぞれの経験や想いを参加者と共有し、大変有意義な時間となりました。

SEEDS Asiaがダッカで活動を実施し、コミュニティ防災を通して災害に強いまちづくりに寄与できたのも、応援してくださっている皆さまのおかげです。心より感謝申し上げます。そして、今後もバングラデシュにおける新たな事業を展開していきますので、暖かいご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



フィリピン

セブ州における学校の防災管理推進支援事業

【JICA草の根技術協力事業】

学校における災害リスク管理力の向上を目指した取り組みを実践しています。

●学校防災管理指導チーム・教員能力開発研修

3月20日から22日にかけて、セブ州ラプラブ市内にて、パイロット校教員と学校防災管理指導チームの能力開発研修を行いました。各パイロット校の学校長と学校防災管理コーディネーター、各地区の学校防災管理指導チーム、セブ州防災管理局、ラプラブ市防災管理局から計約40名が参加しました。これらのパイロット校では平時の学校防災管理体制整備に向けて、安全点検マニュアルワークショップと初稿批評会を開催、さらに実際の安全点検実施を通して見てきたマニュアルの改善点や修正点を反映し、3月には初版の印刷が完了しました。



研修での学校防災管理指導チーム

研修1日目は、マニュアルの初版をもとに学校安全点検についての不明点を明確にするとともに、各校がマニュアル作成中にぶつかった課題や成功事例を共有しました。「学校防災管理チームメンバーは仕事上、学業面の能力向上を優先しがちだが、学校長と学校防災管理コーディネーターが定期的にフォローアップすることで活動が進捗した」、「学校防災管理チーム内からメンバーを任命し、地方自治体の技術局や消防を訪問して安全点検基準や火災に対する安全対策について、分からない箇所を質問した」などと、困難だったことやそれらに対する工夫が発表されました。

2日目と3日目は、学校防災管理指導チーム、セブ州防災管理局、ラプラブ市防災管理局とともに、5月に開催予定の災害対応・避難訓練ワークショップの企画と役割分担を決め、パイロット校のモニタリングに用いるツールについて協議しました。このツールをひな型として今後各パイロット校において安全点検を進めていきます。

●各パイロット校にて安全点検後の改善



色分けしたごみ箱

各パイロット校で作成した安全点検マニュアルとチェックリストを用いて、昨年10月から今年の2月にかけて各校が学校安全点検を実施し、その結果明らかになった問題箇所を改善しました。学校まわりにフェンスを取り付ける、消防車が通られるよう校門のアーチを撤去する、ごみ箱を分別しやすいように色分けシラベルを付ける、落下防止のため高い位置にあるものを移動する、廊下の障害物を撤去するなど、ほとんどのパイロット校が3点以上の改善を行動に移しました。予算が必要ない簡易な改善から始め、学校が持つ毎月のメンテナンス運営費用、地方自治体・地方自治体の教育委員会・地元企業等から予算を集めるなど、各校は災害に備えて、被害を最小限に抑えようと積極的に取り組んでいます。

●防災管理モジュールワークショップ

3月21日、教育省本省防災管理局主催のブラカン州マロロス市での防災管理モジュールワークショップにスピーカーとして招待され、2017年に完了した防災教育事業について紹介しました。教育省の各地方事務所防災管理コーディネーターやカリキュラム学習管理部長、教員40名以上が参加しました。発表後には「私の地方にもこの活動を取り入れたい」など、多くの参加者から問い合わせをいただき、興味のある参加者には防災教育ガイドブック2巻セットを共有しました。



ワークショップにて先行事業の紹介をする
SEEDS Asiaスタッフ



フィリピン

学校での防災教育の推進 【日本アセアン統合基金プロジェクト】

●指導者研修の開催

3月14日、マカティ市の防災管理局職員をはじめとした防災啓発プロジェクトチーム、教育省、ASEAN、アジア防災センターの協力のもと、日本アセアン統合基金プロジェクト「学校での防災教育の推進」事業の指導者研修（Training of Trainers: ToT）として、マカティ市内の教員研修セミナーに向けた指導員研修を実施しました。災害のメカニズム・インパクト・対策を示す災害模型を使用し、これらの模型を使用した防災研修のモジュールづくりを実施するとともに、教員研修セミナーの実施を具体的な計画に落とし込むための話し合いが行われました。



災害模型を試用するプロジェクトメンバー



ミャンマー

ヒンタダ地区における学校・地域防災支援事業 【外務省 日本NGO連携無償資金協力事業】

教育と防災の拠点となる学校建設から地域の防災力向上まで、ハードとソフトを合わせた包括的な防災を推進しています。

事業対象地のエヤワディ地域ヒンタダ地区ナバーゴン村では、シェルター機能を備えた学校の建設と村と学校の防災能力強化を含めた包括的な学校防災支援を進めており、第2年次事業を3月から開始しました。3月から4月の活動は以下のとおりです。

●事業第2年次の開始



学校防災管理指導チームとの会議の様子

外務省日本NGO連携無償資金協力事業として、「ヒンタダ地区における学校・地域防災支援事業(第2年次)」が3月16日より開始しました！3月28日にはナバーゴン村が属するレチョン村郡の郡長と事業開始に当たる協議会を実施し、ナバーゴン村を含めた14村で防災研修を広げていくための今後のスケジュールや参加者の選抜条件などを話し合いました。

第2年次は、継続してナバーゴン村を対象とし、第1年次に建設した同村の小学校兼シェルター利用に関わる1) 学校災害管理体制を強化すると共に、2)シェルター機能を強化し、3)周辺村への防災意識の啓発と能力強化に向けた技術強化研修を実施することによって、地域の災害対応能力の向上を図りながら、社会福祉救済復興省の国家災害マネジメント研修センターと連携し、全国のモデル校として広く情報の共有をおこなう計画です！

防災啓発イベント参加

ミャンマーヒンタダ地区行政局とヒンタダ県災害対応局が主催する防災啓発イベントにSEEDS Asiaのスタッフがトレーナーとして参加しました。ヒンタダ県防災管理局に引き継いだ防災学習ツールキット(JICA草の根案件にて作成)が今回も大活躍。学校に通っていない子どもも地域住民も楽しく効果的に防災について学ぶことができました。





日本

丹波市創生シティプロモーションパートナーシップ事業

【丹波市】

復興スタディツアーを通じ、豪雨災害からの教訓を伝え、丹波市の新たな“好流”を促進します。

●2019年度のスタディツアー実施打合せ

4月18日、丹波市市島町の住民の方々と、2019年度のスタディツアーの実施について打合せをしました。協議の一環で、シーズンごとのイベントや自然の見どころ、旬の食べ物などを明らかにし、訪問者が興味を持ちそうなツアーのアイデアを話し合いました。

5月には田植え、7月から8月にかけては地元のお祭り、秋には稲刈りなどの収穫、冬には昨年同様餅つきやしめ縄づくりに加え、森林活動も盛んになります。今年度は大学生だけでなく、さまざまな方に丹波の自然や人のぬくもりを体験してもらえるスタディツアーを開催することが決定しました。



市島町の住民の方々との打合せの様子

お知らせ

●SEEDS Asia中期計画策定ワークショップ



長期計画をレビューするSEEDS Asia職員

4月24日から25日にかけてSEEDS Asiaの職員が集まり、2030年に向けて策定した長期計画をレビューするとともに中期計画を策定する団体内ワークショップを実施しました。このワークショップでは、これまで約12年間進めてきたプロジェクトの振り返りを団体の強みに照らし合わせ、これからの活動としてどのような内容をどの場所で進めるべきかを協議しました。現状を踏まえた上で、事業を支える組織運営、財源確保や広報についても強化することに合意し、これから10数年かけてSEEDS Asiaがどのような組織でありたいかについて具体的な計画に落とし込むことができました。

「SEEDS Asiaといえば〇〇、の〇〇は何か？」というテーマのブレインストーミングでは、得意分野であったり活動に対する姿勢であったりと様々な意見が出て、それぞれの職員の団体に対する考えが垣間見えました。

SEEDS Asiaは仙台防災枠組と持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向け、さらなる強みを発揮できるよう、努めて参ります。今後とも、皆さまのご指導とご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

講師派遣

●ダイワハウス工業株式会社主催「第15回ステークホルダーミーティング『まちの価値を、未来へ -人と人、人と地域がつながり、未来へ続いていくまちづくり-』」

2019年3月6日、ダイワハウス工業株式会社主催による「第15回ステークホルダーミーティング『まちの価値を、未来へ -人と人、人と地域がつながり、未来へ続いていくまちづくり-』」が開催され、SEEDS Asia職員の大津山光子がステークホルダーとして参加しました。同ミーティングにはNPO/NGO、大学、企業など、合計20名が参加し、大和ハウス工業株式会社が策定した「まちづくりビジョン」について4つのテーマでグループに分かれて意見交換をおこなうというものでした。SEEDS Asiaは「災害とまちづくり」のグループの一員になり、防災や復興に関わるNPOとして得てきた教訓や経験について共有しました。SEEDS Asiaの理事であり、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター主幹研究員 及川幸彦氏が提唱してきた災害対応力の概念の一つで、自助、共助、公助だけでなく、被災地域や国をも越えるNGOや大学を含めたつながり、ネットワーク（N）力、すなわち縁助が応急対応から復興に向けて大きな力を発揮したことや、地区防災計画の重要性について等、「頂いたご意見」としてダイワハウスグループホームページにも掲載頂いています。

<https://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/stakeholder/15/outline.html>

この場をお借りし、貴重な機会を下さったダイワハウス工業の関係者の皆様に改めて御礼を申し上げます。

●京都東ロータリークラブ主催「国際奉仕フォーラム」



京都東ロータリークラブ 月報 (748号)

2019年3月15日、第2650地区京都東ロータリークラブ主催「国際奉仕フォーラム」がウェスティンホテル東京都東館2階「山城の間」で開催され、SEEDS Asiaから大津山光子が講師として招聘を受け、「災害に負けない国づくりーミャンマーに百葉箱を一」と題しミャンマーのサイクロン・ナルギスやその後の現状、百葉箱がもたらす効果について講演の機会を頂きました。

同クラブとは、2019年度にロータリー財団の地区補助金事業として「百葉箱（気象観測機器）の設置による気象情報理解の促進プロジェクト」を共同で実施することとなっています。同フォーラムには33名の会員の方々が出席され、熱心にミャンマーのお話に耳を傾けてくださいました。また、モノを届けるだけでなく、人を育てていく支援の在り方に深く共感を頂いております。当日の様子は京都東ロータリークラブの月報にも掲載頂きました。この場をお借りし、一連のご支援につき、改めて京都東ロータリークラブの皆様へ御礼を申し上げます。



Bangladesh

Project on Capacity Building for Community-Based Disaster Risk Reduction in Urban Areas of Bangladesh

【JICA Grassroots Technical Cooperation Project】

●Partnership between the City and DRR Communities



Building safety inspection

Dhaka North City implemented the inspection drive to check fire safety measures in commercial buildings in the City under the mayor's leadership from 6th to 17th April as the number of fire cases increased. Leaders of DRR communities were invited to the meeting held to discuss the check points of the inspection and assign the members in each zone and they shared the situation of their area to the City officials. 6 DRR communities participated in the field investigation and contributed to the City's effort. In the inspection, 33 buildings were visited and it was found that none of them had taken enough fire safety measures; fire extinguishing system such as extinguishers and hydrant were not installed; the building code was not properly followed; emergency stairs did not exist or they were not accessible because they were blocked by dumped bulk waste and other stuff; evacuation

drills were not conducted, etc. After the inspection, the building owners were advised by experts to improve the situation. This inspection was a good case of cooperation between the City and citizens as the City acknowledged DRR communities as notable resources of the communities. It was impressive to see that the City and communities worked as a team in the vest with the slogan "durjoge amraa - we stand against disasters" in Bengali language.

●Completion of Project Campaign Video!

The video to introduce the project in Dhaka City has been completed. Members who work together in the project: DRR community leaders; citizens; ward councilor; fire fighter and our partner, official of Dhaka North City gave us amazing comments and the video was released as one of the best campaign video of SEEDS Asia ever! Please have a watch in the following link!: <https://www.youtube.com/watch?v=lnubdgE8qBc&feature=share>

●Completion of the Project and Final Workshop

The project on capacity building for community-based DRR in Dhaka City which had been conducted since 2016 was finally concluded. With our partner, Dhaka North City Corporation, SEEDS Asia implemented activities towards capacity building for self-help and mutual help, being modeled after Kobe City's DRR and welfare community (BOKOMI). Twelve DRR communities have been developed since we started the project, and each community works on DRR in a unique and suitable way for their community. Many positive changes were observed in the three years, some of which being that the community leaders used to claim that responsibility for DRR is on the government and not on them when the project started, but after a number of discussions and trainings with SEEDS Asia, they came to realize that there was so much they could do to make their community safer and their mindset changed. They also started to encourage women to join DRR trainings and activities as they realized that it is women who stay at home longer than men and they should build their disaster response capacity to protect home. Moreover, there were many cases that proved the purpose of the project to be meaningful. We were proud when one of the trained DRR leaders got the news of fire breakout, rushed to the site with a fire extinguisher, and successfully put out the fire and saved his community. Besides, we saw some wonderful secondary effects that communities become vibrant through DRR activities and DRR communities' network was built by the trained leaders.

The final workshop to conclude the 3-year project was held on 14th March. The mayor of Dhaka North City who was newly elected in February and executives of the City attended the workshop. They reviewed the project activities and achievement and discussed the future of DRR in Dhaka City. It was the first official event for the mayor since he took the office and he emphasized his commitment for well-being, dignity, and safety of the citizens and that loving one's own city was the first step to develop resilient community. It was such a meaningful moment with leaders from DRR communities and a lot of other members participated to share their experiences and passion for their community.

SEEDS Asia could not contribute to developing resilient community with community based DRR activities without all those who supported and encouraged us in many ways. We would like to take this opportunity to express our sincerest appreciation to your great support and assistance.



Many thanks for your support and assistance from project team!



Philippines

Support Project on Promotion of School Disaster Risk Reduction and Management in Cebu Province

[JICA Grassroots Technical Cooperation Project]

●Capacity Building Training for SDRRM-IT and Pilot Schools

From 20th to 22nd March in Lapu-lapu City, Cebu Province, SEEDS Asia conducted capacity building training for School Disaster Risk Reduction and Management Instructing Team (SDRRM-IT) and for pilot schools. School heads and School Disaster Risk Reduction and Management (DRRM) coordinators from pilot schools, SDRRM-IT, Cebu Provincial DRRM Office, Lapu-lapu City DRRM Office, totaling around 40 people participated. Pilot schools have already printed first editions of School Safety Inspection Manuals in March, after participating to Safety Inspection Manual Workshop and Manual Critiquing, and conducting a test of Safety Inspection. On the first day of the training, SEEDS Asia clarified some questions about Safety Inspections using the first editions of Safety Inspection Manuals, and pilot schools presented their good practices and challenges during crafting their manuals. Examples of their comments about their challenges and efforts are the followings: “There was a lack of commitment of the SDRRM Team members who prioritized their main task especially on the academic side, but school head and school DRRM coordinator constantly followed up to the members.”, “SDRRM Team assigned a member to visit Engineering Department as well as the office of Bureau of Fire Protection of the City to ask for technical assistance in terms of the safety standards for the structural and fire safety concerns.”



Capacity building training for SDRRM-IT and pilot schools

On the second and third days, SEEDS Asia together with SDRRM-IT, Cebu Provincial DRRM Office and Lapu-lapu City DRRM Office planned for Disaster Response and Evacuation Planning cum Workshop which will be held in May, decided task responsibilities of the workshop, and also discussed a monitoring tool of pilot schools’ activities.

●Implementation of Safety Measures after School Safety Inspections at Each Pilot School



Implementation of safety measures after School Safety Inspections

Each pilot school conducted Safety Inspections from October last year to February this year, using Safety Inspection Manuals and checklists each school crafted. After the Safety Inspections, each pilot school implemented safety measures against problems found during the inspections. Most of the schools implemented more than three measures such as a fence construction around the school, removal of a gate arch so that fire trucks can pass through, color coding and proper labeling of trash bins, removal of stuff which were on high places, and removal of obstructions along the hallway, etc. Schools started the implementations from simple measures which do not require much budget, and raised funds from monthly maintenance and other operating expenses, local government unit, local school board, and local corporations, etc.

●DRRM Module Workshop

On 21st March, SEEDS Asia was invited by Department of Education Disaster Risk Reduction and Management Service as a resource speaker to DRRM Module Workshop in Malolos City, Bulacan Province. SEEDS Asia gave a presentation of Disaster Risk Reduction Education (DRRE) project completed in 2017. More than 40 people including regional DRRM coordinators, Curriculum and Learning Management Division chiefs and teachers participated. After the presentation, some participants told that they wanted to implement this project in their region as well, and SEEDS Asia shared the softcopies of DRRE guidebooks (two volumes) to those who were interested.



SEEDS Asia staff giving presentation of the previous project at workshop



Philippines

Promotion of Disaster Education of Schools 【 Japan–ASEAN Integration Fund Projects 】

●Teacher Training Seminar

On 14th March, a training of trainers towards the conduct of teacher training seminar in Makati City was held in cooperation with the Project Implementation Team of Makati City (Disaster Risk Reduction and Management Office, League of Barangays, Information and Community Relations Department and Urban Development Department), Department of Education, ASEAN and ADRC. Using the hazard simulation models which present hazard mechanisms, impacts and protective measures, module-making to fully utilize those models took place. Also, a discussion to plan the teacher training in a concrete manner was also held.



Project Implementation Team members testing a hazard simulation model



Myanmar

Enhancing Comprehensive School Safety in Collaboration with Community in Hinthada Township 【 Ministry of Foreign Affairs of Japan (MOFA) 】

●Project Phase-II Has Begun!



Presentation of SEEDS Asia's project

“Enhancing Comprehensive School Safety (CSS) in collaboration with community in Hinthada township Phase-II” has been started since 16th March 2019 with financial support by MOFA and the people of Japan! On 28th March, the discussion with the leader of Lechaung village tract was held to decide the timings and criteria of selection of trainees for further training activities for 14 villages including Nabekone village. The 2nd year project will focus to prepare, mitigate, and respond better to disasters through 1) Enhancing school disaster management, 2) Strengthening of shelter function of the school, and 3) Enhancing capacity of community and schools through training. We promote this school cum shelter as a model of Comprehensive School Safety through engaging National Disaster Management Training Centre of Disaster Management Department, Ministry of Social Welfare, Relief and Resettlement.

DRR Awareness Event

Hinthada, Yangon and Tanintharyi Regional Office of Disaster Management Department invited us to deliver training by MKRC and lectures at a DRR awareness event at three regions in Myanmar. MKRC was developed with JICA Grassroots Technical Cooperation Project before and has been taken over by the Department after the project. It was our great honor and happiness to work as a team for our common mission!





Japan

Tamba City Revitalizing City Promotion Partnership Project 【Tamba City, Hyogo】

●Meeting for Study Tours in Fiscal Year 2019

On 18th April, a meeting was held with residents in Ichijima-cho, Tamba City to discuss the conducts of study tours in fiscal year 2019. Part of the discussion was to address seasonal events, highlights in nature and great food that can attract visitors.

Rice-planting in May, local festivals in July to August, rice-harvesting in fall, and rice-cake pounding and sacred rope making in winter besides forest activities. This year, study tours for not only university students but for various people are planned for them to enjoy the great nature and people in Tamba.



Meeting with residents in Ichijima-cho

Announcement

●Mid-term Planning Workshop of SEEDS Asia



Members of SEEDS Asia reviewing long-term plan

From 24th to 25th April, members of SEEDS Asia conducted a workshop to review the organization's long-term plan and formulate a mid-term plan. Projects in the past 12 years were reviewed in relation to the organization's strengths, and what activities in where to be implemented in coming years were discussed. Organizational operations, financial stability and public relations were also focused on in the discussions. Based on these discussions, "In 10 and a few years, what kind of organization do we want to be?" was put into a concrete plan.

In the brain storming session to give thoughts to "SEEDS Asia is renowned for what?", different ideas such as specialties and attitudes for its projects were exchanged.

SEEDS Asia is determined to keep on striving toward achieving Sendai Disaster Risk Reduction Framework and Sustainable Development Goals (SDGs). Your cooperation, support, guidance and encouragements are all greatly appreciated and we all look forward to working with you.

Delivery Lecture

●Daiwa House Industry Co., Ltd. “The 15th Stakeholders Meeting”

On 6th March, Otsuyama Mitsuko from SEEDS Asia participated in “The 15th Stakeholders Meeting”, hosted by Daiwa House Industry, as a representative of an NPO working for disaster risk reduction. A total of 20 people from NPO/NGO, universities, government and private sectors participated in the meeting, being grouped into four different themes to discuss the “vision for community development” designed by Daiwa House Industry. Otsuyama was a member of the “Disasters and community development” group and shared lessons and experiences from SEEDS Asia’s initiatives of emergency response, disaster recovery process and disaster risk reduction in Asia. In the discussion, one of the important points that SEEDS Asia shared was the concept of “N-help” attributed from Dr. Oikawa Yukihiro, a board member of SEEDS Asia and a principal researcher of University of Tokyo Ocean Alliance, Research Center for Marine Education). N-help is a power of networking with stakeholders including NGOs/NPOs and universities beyond borders between pre-impacted and post impacted communities or beyond even counties which plays a big role in each step from the initial disaster response to recovery. It is equally important to other three helps; self-help, mutual help and public help. Additionally, SEEDS Asia addressed the importance of community disaster management plan, as reported on the website of Daiwa House Group (Japanese only).

<https://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/stakeholder/15/outline.html>

SEEDS Asia would like to express our sincerest gratitude to Daiwa House Industry for having us in the meeting.

●International Voluntary Forum hosted by Rotary Club of Kyoto-East



Newsletter No. 748 of Rotary Club of Kyoto-East

On 15th March, SEEDS Asia was invited to give a lecture titled as “To make a country resilient – How weather observation equipment can work in Myanmar” at International Voluntary Forum hosted by Rotary Club of Kyoto-East District No. 2650 at The Westin Miyako Kyoto. The lecture consisted of the situation of Cyclone Nargis which hit Myanmar in 2008, the situation and challenges of the society later on, and the positive impacts expected to be brought by weather observation equipment.

The Rotary Club of Kyoto-East and SEEDS Asia jointly plan to implement “Project for enhanced understanding of weather information through installation of weather observation equipment” in the year of 2019. 33 members of the said Rotary Club attended the forum and showed their interest in Myanmar, and also agreed on the project’s purpose of not only giving out materials but also to building capacity of people. SEEDS Asia would like to express our sincere appreciation to Rotary Club of Kyoto-East for all their great support, assistance and partnering with us.